



会報 2017年10月号

日本ニュージーランド協会 (関西)

創立 1970 年

New Zealand Society of Japan, Kansai

When autumn comes these mountains are always
as we see them now, where the deer cries
in looking for his wife on these high fields.

Prince Naga

ニュージーランドでは春の花々が美しく咲き誇っているそうです。牧場では誕生した子羊の姿が見られます。観光にはベストシーズンになりました。日本では芸術・スポーツ・食欲・読書の秋が始まりました。

さて、年内の2例会は下記の通りです。ご家族・友人などのご参加も歓迎です。

また、12月1日にはニュージーランド大使館で全日本ニュージーランド協会連合会懇親会等が開催されますのでご案内いたします。

第267回例会 (柿狩り・五條)

日本一の柿の産地で実りの秋を体験しましょう

日時：11月18日(土) 10時30分～16時00分

場所：会員の太津さんの柿農園

第268回例会 (クリスマス・神戸)

1869年に設立された伝統あるKobe Clubでお食事と多彩なプログラムを楽しみましょう

日時：12月7日(木) 11時00分～14時00分

場所：神戸外国倶楽部

会場の都合により、平日開催になりましたのでご了承ください

事務局：〒550-0002

大阪市西区江戸堀1-23-26 西八千代ビル3階C

N.S.コンサルタント内

電話・FAX：(06) 6607-2112

HP：<http://nzsocietykansai.com>

E-mail：nzsjk@yahoo.co.jp

■ 第267回例会のご案内（柿狩り・五條）

今年も太津さんのご好意と松元さんのお世話により開催します。日本一の柿の産地、五條で秋の実りを体験しましょう。

- ・ 11月18日（土）10時30分～16時頃
- ・ 集合：近鉄福神駅前10:30
- ・ 費用：2500円（弁当代含む・子供同額）
- ・ 定員：25名 締切：11月10日（金）
- ・ 申し込み：事務局

電話・F a x：06-6607-2112

メール：nzsjk@yahoo.co.jp

*交通手段（電車・車）もお知らせください。

急行 阿部野橋発 9:20 福神着 10:24

特急 阿部野橋発 9:40 福神着 10:35

（乗車券810円・特急券510円）

一念の為ご確認下さいー

*雨天は中止。催行確認は、当日7時以降にお問い合わせください。

太津さん 090-3167-9607

松元さん 090-1955-2566

- *「富有は顎で食べ、次郎は歯で食べ、種無しは舌で食べ」と言われていますが、美肌効果、風邪ひき・高血圧予防などの効用があります。

■ 第268回例会のご案内（クリスマス例会）

今年も会場は恒例の神戸外国倶楽部で開催しますが、開催日が下記の通り平日になりますので、ご了承ください。美味しい食事・ビンゴゲーム・クイズ・バザー・プレゼント交換など盛り沢山。

今年引退声明を出した世界的ソプラノ歌手、**キリ・テ・カナワ**の美声を聞きながら楽しい時間を過ごしましょう。ご家族・友人をお誘いいただきご参加ください。

- ・ 12月7日（木）
 - 11時00分 受付・バザー開始
 - 11時30分 例会スタート

14時00分 閉会

- ・ 神戸外国倶楽部 中央区北野町4-15-1
トアロードの突き当り西側

三ノ宮から車で10分

NHK神戸から北へ徒歩10分

電話：078-241-2588

- ・ 会費：会員と同伴者 6500円

キウイ 3000円

小学生未満 2500円

飲み物：各自払い

- ・ 合唱：ポカレカレアナ・蛍の光
- ・ プレゼント交換：1000円程度のものでご持参ください。
- ・ バザー：出品にご協力ください。
- ・ 締切り：11月24日（金）
 - 以降はキャンセル料を全額ご負担ください。
- ・ 定員：60名 お断りの場合のみご連絡します。
- ・ 申し込み：

TEL・FAX:06-6607-2112

メール：nzsjk@yahoo.co.jp

キリ・テ・カナワ (Kiri Te Kanawa)

オズボーン生まれでマオリの血を引く世界的ソプラノ歌手、1970年コペントガーデンの王立歌劇場でオペラ「フィガロの結婚」でデビュー。2年前には東日本大震災の復興を願い、いわき市でコンサートを行う。昨年10月のオーストラリア公演が最後。本年9月に引退を表明した。基金を設けて若手の育成にも努めている。

■ 全国NZ協会連合会懇親会のご案内

12月1日（金）18時から2時間、NZ大使館公邸（渋谷）で開催されます。各地の団体・大使館員の皆さんと交流するには良い機会と思います。ご家族・友人の参加も歓迎するとのことです。ご希望の方は、11月10日までに当協会事務局へご連絡ください。詳細をお知らせします。

会費：9000円

ドレスコード：ビジネススタイル

*当日の午後に総会がありますが、役員の方で出席可能な方も事務局へご連絡ください。各団体活動紹介のプレゼンテーションもあります。

会場：未定

~~~~~

## ■ 臨時例会 9月9日

### キウイハウス・手塚治虫記念館

今回の臨時例会は久しぶりにNZ料理をと云うことで宝塚の「キウイハウス」を訪れました。しばらくご無沙汰だったとはいえ何度も行ったキウイハウスなのにのっけから道に迷ってしまいました。というのも高層マンションの林立で周辺が一変していたのです。あまりの変貌ぶりにびっくりしました。参加者は久しぶりの荒田さん・林さんの知人の岩佐さん（近所にお住まい）を含め13名でした。以前会員の松沼清司さんのNZ移住時の話を聞きながら楽しい時間を過ごしました。お料理は、息子さんの直司シェフが丹精込めて作られた鹿肉の生ハムとメロン、サーモンマリネ、雁のスマーク、鹿肉のテリーヌ（マヌカハニーのプチプチマスタード添え）、枝豆のスープ、茄子とズッキーヌのキッシュ、NZ産ラムレグ（ローストハニーマスタードソース）、アボカドのシフォンケーキ、キーキーイポーキアイスクリームなど。流石NZ料理専門店ならではの数々。とても美味しく皆さん堪能されていました。（鹿は銃を使わず生け捕りにしたものだけを使っているそうです）



（松沼さんの話を聞く）

食事後は近々取り壊されるという宝塚ホテルのレトロな雰囲気ロビー等を見学し（趣のある建物でもったいないなあと思いました）宝塚市立手塚治虫記念館を訪ねました。年間10万人の入場者があり最近外国人も多いそうです。

手塚マンガは小学生の頃（20年ほど前？）少女雑誌の連載でリボンの騎士を読んでいたような気がします。アトムもレオも火の鳥も何となく知っている程度です。初音ミクって何者、バーチャルの世界の女の子ですって、ついて行けませんので私はこれから先もリアルな人間相手にのんびり生きてゆくことにしましょう。記念館に入った冒頭の壁に手塚治虫著「ガラスの地球を救え」より引用されたパネルがかかっています。素晴らしい言葉がいっぱい散らばっています。皆さんにも読んでいただきたく、ここに転載します。

ぼくは宝塚という町で育ちました。幼少期をそこで過ごしたわけですが、“いじめられっ子”でしたし、戦争にも突入したし、すべてよいことばかりだったなんてとても言えません。

けれども、いまから思うと、まわりに自然があふれていたことはありがたいことでした。

幼いころ、駆けずりまわった山川や野原、夢中になった昆虫採集は、忘れられない懐かしさと輝きを、ぼくの心と体の奥深くに植えつけてくれたのです。僕のペンネームの「治虫（おさむ）」も甲虫のオサムシになぞられたものです。子どもころの自然のすばらしさ、豊かさはいまでも鮮やかに蘇ります。林の向こうに真っ赤に大きく揺らめきながら沈んでいく夕日や風のざわめき、青い空に高く流れる白い雲—そんな自然にふれたとき、ぼくはいつもやさしい気持ちになっている自分を感じていました。人間がどのように進化しようと、物質文明が進もうと、自然の一部であることには変わりはないし、どんな科学の進歩も、自然を否定することはできません。それはまさに自分自身＝人間そのものの否定になってしまうのですから。生命はかけがえのないもので、そして人類と同じように価値ある生命が自然界に満ち、それらが密

接にありとあらゆる形で相互に生かし合っていること、また地球は人類はもちろんのこと、生物にとって絶対不可な星であることを熱意をもって、語りかけていきたいと思ひます。このあたりまななことへの感動を、何度でも呼びさまさねばならないのは、ぼくたち大人自身だろうと思ひられます。生まれながらに地球という天体を外から眺めながら育った子どもたちは、その天体に棲む何十億という人間を、万物の霊長だとは見ないにちがいないと思ひます。きっと他の無数の生きものと同等に、一介の生物として考えるでしょう。大宇宙の孤独に耐えて、ガラスのように壊れやすく、美しい地球に住む人間の小ささ、力を合わせていかねば生きられないこと、そして、人間がいちばん偉いのではないこと、地球に生きる動物も植物も人間も、みんな同じように生をまっとうし、子孫を生み続けていく生命体であるのだと、まっすぐに受けとめることができるように思ひます。

暑いくらいの天候でしたが、秋の気配を感じつつ逆瀬川・花の道・大劇場の建物周辺も散策し、運のいい方は宝塚音楽学校の生徒さんの姿も拝見できたそうです。

松沼さんから著書2冊を寄贈していただきましたので事務局に保管することになりました。

お読みにになりたい方は、ご連絡ください。

- ・ 全く経験の無い50歳の私が 「ニュージーランドで牧場生活」 始めちゃいました
- ・ びっくり箱・玉手箱～私の海外体験記～

清司さんは今回を契機に再入会されることになりました。

尚、キウイハウスは、予約制になっていますので、必ず事前連絡が必要とのこと。

NZ産ビール・ワイン・食材の販売もされています。電話：0797-86-7657

(塙 幸子)



(キウイハウスの前で)

参加者：(松沼清司 荒田利男 松元昇 山田輝子  
牧初代 藤野紀子 加藤進 林園子  
林弘子 山下誠二 石井久行 塙幸子  
岩佐倫太郎)

## ■ 臨時例会 9月22日 スイスホテル A.C.Bennett客員会員の講演

今年度2回目の臨時例会は、産経新聞開発(株)主催の「ハッピーエイジング&ソナエ博」のプログラムの一環として開催されたベネットさん(関西大学教授・武道家)の講演会に主催者から招待状をいただき、9名が参加しました。当日は、健康問題・美容・コンサートなどもあり盛況なイベントでした。会員は、ベネットさんのことをよく知っていますが、100名ほどの年配の出席者は彼が堪能な日本語で講演されたので驚かれたようです。簡単な自己紹介・NZの概要・キウイ気質・環境保全の厳しさ・観光名所・食べ物持ち込み禁止・物価は日本より高い等を約50分、パワーポイントを利用しながら話されました。その後、NZ航空の石川さんから関空から直行便が復活する。これからがベストシーズンであるので関西の皆さんに行っていただきたい、また将来利用客が増えれば年間を通じて直行便を復活することも考えていると挨拶があった。引き続き旅行会社から観光の魅力につき簡単に紹介があった後、最後にワイン・ビールなどの抽選会がありました。下記はベネットさんが簡単に日本とNZの比較をされた表です。

このほか、北島と南島の比較、サバティカルで帰

国したときに訪れたスチュワート島で聞いた日本人女性のエピソードなど熱心に話されました。

| 日本         | NZ                 |
|------------|--------------------|
| 居眠りの名人     | 人前では居眠りしない         |
| 時間を守る      | 時間はあまり守らない         |
| 島国根性       | 島国から出て海外経験を<br>をする |
| 几帳面        | ルーズ                |
| 伝統を守る      | 伝統を破る              |
| 物を買う       | 物は作る               |
| 学校の部活は軍人訓練 | 部活は遊び感覚で           |
| 家の中では裸足    | 家の外では裸足            |

\*ベネットさんの著書「日本人の知らない武士道」は貸し出しが可能です。

(石井久行)

参加者：(松元昇・山田輝子・藤野紀子・林園子・  
松沼清司・林進・中村重夫・釜元宏明  
石井久行)

## ■ 山下明さんが民泊を始めました

Festina Lente という名前で宿泊施設を開業。ラテン語で「急がば回れ」という意味だそうです。増加する訪日外国人に喜んでいただくため宿泊だけでなく日本文化を体験できる施設としています。山村流の日本舞踊、裏千家のお茶、未生流のお花等を体験いただけます。値段もお安く、たとえば2Fの1人部屋は現在1泊 4,880円 で提供。意外なことに、外国人だけでなく日本人観光客にも好評とのこと。NZからの皆さんには小さなプレゼントを用意。運営が軌道に乗ればNZに観光・ゲストハウス事情を視察に行かれるそうです。山下さんは、コンピュータに詳しいので、会員の皆さんの相談にも乗っていただけます。

### Festina Lente

〒558-0023 大阪市住吉区山之内 2-4-2  
大阪市大へ徒歩6分

Phone & Fax: 06-6657-6773

ホームページアドレス: <http://feslen.jp>

アクセス: 地下鉄御堂筋線あびこ駅徒歩15分、  
JR阪和線杉本町駅徒歩5分



(玄関・居間)

## ■ 村上祥子さんからのチケットのプレゼント

村上さんから芸術の秋にふさわしいコンサート・チケットのプレゼントのご案内をいただきました。ご本人もピアノを演奏されます。チラシを同封しますので、ご希望会員はご本人にメールでご連絡ください。

その際、必ず当協会会員であることを明記してください。できるだけ早くお申込みください。

10月27日(金) 19時開演

ザ・シンフォニーホール

---

## ■NZニュース・クリッピング

(6月～9月)

- ・チーム・ニュージーランド、アメリカズカップで優勝  
バーミュダで開催されたヨットのアメリカズカップでアメリカを打ちのめし大勝利をおさめた。
  - ・2018年、オークランド更に禁煙区拡大へ  
中心部やメトロポリタンセンター、タウンセンター等をスモークフリーエリアにするための対策を講じている。2025年までには禁煙国にする予定。
  - ・ホームレス増加は国民党の責任？  
労働党は、ホームレスの増加について政府の基本的な任務に失敗していると国民党を攻撃している。オークランドでは2.4万人になる見込み。
  - ・低所得者、収入の半分が家賃に  
1990年には、収入の29%だったが、51%に増加した。緑の党は、政府は人々の手の届く家賃のもとと建設し、投資家たちを制御し、富に対し公平に課税すべきと与党を批判している。
  - ・労働党、新党首に37歳のArdern氏  
2か月後の総選挙を控え、世論の支持率が25%未満と1995年以降最低の支持率となり、リトリ党首が辞任。ヘレン・クラーク氏に次いで2番目の女性党首となった。
  - ・職場のストレス上昇  
働く人々のストレスは増すばかりで、半数が病気になっても出社していることが分かった。仕事量・目標達成のプレッシャー・長時間労働によりストレスを感じていることが報告された。
  - ・「緑の遺産ヒロシマ」の銀杏がダニーデンへ  
原爆を生き残った銀杏の種が希望の象徴としてダニーデンの植物園へ送られる。  
緑の遺産ヒロシマは、30か国に被爆地から2キロ以内にあり生き残った樹木の種子や苗を送っている。
  - ・グリーン党リーダー、M.Turei氏スキャンダル発覚で辞任  
20年前のシングルマザー時代、生活保護不正受給を3年間受けていた疑惑で、同氏が「生活のために仕方なかった」と認めて以来、非難の声が高まり家族にも被害が及ぶとして党首を辞任、党籍も外れた。
  - ・ヘッドフォン装着によるニアミス事故増加  
電車の運転手の中で、歩行人がヘッドフォン装着中の不注意により、電車と衝突しかけるニアミスが上昇していることが話題になっている。Kiwi Railによると2010年は15件だったが、今年は66件もある。
  - ・イエローアイド・ペンギンを守れ  
自然保護団体がペンギンの着ぐるみを着てイエローアイド・ペンギンを守れと南オタゴのバルクルーサのメインストリートを練り歩いた。漁業により餌の魚を奪われ飢餓の危機にある。南島の沿岸に266組のつがいが確認されているが、25年以内にNZでは絶滅すると懸念されている。地元の人々はペンギンを守ろうとしているが、政府は耳を貸さないと批判している。
  - ・ネピアの水族館のリニューアル  
約45ミリオンドルを投じ、現在より3倍に改装するとシティカウンスルが発表。  
工事は2019年から2021年、ピーター・ジャクソン監督たちが設立したデザイン事務所が設計、世界的な水族館になる見込み。
-

- 
- ・ラグビー女子ワールドカップ優勝  
ベルファーストで行われた大会で「ブラック・ファーンズ」はイングランドに勝ち5度目の優勝。これで男女とも世界チャンピオン。日本は、11位。
  - ・年間の自殺者600人に  
この3年間自殺者は増加しており、今年は606件。前年より27件、前前年より42件多く2007年以来最高。最も自殺が多かった年齢層は20歳から24歳。  
22歳の息子を亡くした親は「この年齢の若者は、弱みを見せたがらず自分は強いことを表に出したがる、自分の悩みを打ち明けられないでいる」と分析している。  
NZでもライフラインやうつ病のためのヘルプラインなどの無料電話サービスも設けられている。
  - ・警官の8人に1人が銃で威嚇された経験を持つ  
この2年間に、銃で威嚇された経験を持つ警官の数が跳ね上がったが、このことはNZの銃問題の深刻化を表している。銃規制を政治的に対処することが必要。
  - ・テカポの善き羊飼いの教会設備費を申請  
1935年に建設された教会は、観光バスやキャラバンが何台も訪れる観光のスポットで混乱している。この教会を抱えているマッケンジー地区は駐車場と景観整備のため3万ドルを政府に申請している。
  - ・総選挙（9月23日）国民党辛勝 そして鍵を握るファースト党  
国民党が58席（得票率46%）、労働党が45席、ファースト党9席、緑の党7席という結果となった。定員120議席でどの党も過半数を獲得できなかった。  
在外投票など全体の15%に当たる特別投票の結果の公表は10月7日。イングリッシュ

首相は、新政権樹立までに数週間かかる可能性の見解を示した。

- ・青少年による強盗が増加  
強盗や強盗関連の罪で法廷に出頭した10歳から16歳の子供が前年の171人に比べ267人に増加、2008年以降最も多い数字となった。高い失業率・生活保障サポート削減など生活していく為の手段として犯罪に走ってしまうのではないかと警告が鳴らされている。

(NZ大好きより)

~~~~~

■ 図書紹介

「世界中の大富豪はなぜニュージーランドに殺到するのか？」

様々な魅力を秘めたNZの最新情報
美しい自然、人種差別もなく、治安も良好
さらに相続税、贈与税、キャピタルゲイン
課税の活用方法を詳しく解説。
著者：浅井隆 発行：第二海援隊
上1700円 下1600円

*お読みにになりたい方は事務局へご連絡ください。
その他 NZ関係の本・パンフレットも少ない
ですがございます。

■ 新会員

3名の入会がありました。

日根野文三さん（石井さんの紹介）・奥村和彦さん（中村さんの紹介）・松沼清司さん（再入会）

■ 年会費入金状況

- 9月末までにご入金いただいた皆さんです。

外山純 堀江敏樹 柳田勘次 正木紀通 林園子 石井久行 中村重夫 伊藤美登利
佐藤敏 武田耕道 中谷紀子 森川和代 藤野紀子 加藤進 井上佳久 西川賢一
西原博子 山野敏子 宗佐保 牧初代 山下明 藤村琇子 磯部勢津子 山田輝子
小林さや子 北野和夫 三浦治郎 太津隆司 荒田利男 服部雅裕 林進 後藤まゆみ
山内龍男 高崎映三 貴志康弘 日高隆義 村上祥子 喜田靖夫 日根野文三 松村明
田原奈佳 呉橋真人 永田美夜子 亀井学 塙幸子 松元昇 吉田恵 松沼清司
奥村和彦

- 未納の皆様へ

原稿締め切りの都合上、上記に掲載されていない方もおられる可能性がありますので
ご了承ください。不確かな方は事務局へお問い合わせください。

10月末までにお振込みいただきますようお願いいたします。

3000円 ユース会員は2000円

ゆうちょ銀行に口座を持ちATM利用の際は、その月3回まで手数料は不要です。

・他行からの振込：店名 ヨンイチハチ 店番 418

・ゆうちょ銀行からの振込：記号 14110 番号 56529351

普通口座：5652935 名義：日本ニュージーランド協会（関西）

■ キリン・チャレンジカップ（サッカー） 日本対ニュージーランド

10月6日（金） 19時20分 キックオフ 愛知／豊田スタジアム

■ ご寄稿のお願い

皆様からの原稿をお待ちしています。NZに関する情報・旅行記等をお気軽に
お書きください。次号の締め切りは、2018年2月末日です。
